

令和7年度 幼保連携型認定こども園 ミナパもくせいのもり 自己評価

<教育保育理念>

全ての子どもたちが笑顔で成長できるよう、生きる力を培います
子ども一人一人の自主性を大切に育みます

<教育保育目標>

- ・明るく元気な子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・みらいを創造する子ども

<概況報告>

教育保育理念に基づき、一人ひとりの成長発達を大切にしながら、生活習慣や社会性の育ちを重視した教育保育を実践してまいりました。また、教育保育目標については日々の活動の中で職員間の共有を図るとともに、保護者の皆様にも丁寧に伝え、家庭と連携した子育て支援に努めました。子育て支援棟の利用も増え、地域の方々とのつながりが広がっている点は成果と捉えています。一方で、職員間の情報共有や教育保育の実践における共通理解については、さらなる充実が必要であると認識しており、次年度の課題として取り組んでまいります。

A：十分達成している B：ほぼ達成している C：検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価				備考欄
		A	B	C	D	
教育保育目標	・目標は施設や地域の特性を活かしているか	11	10			職員会議や研修等を通して、教育保育目標の周知と共通理解の促進に努めました。概ね理解は図られているものの、日々の実践への落とし込みには個人差も見られるため、今後は具体的な事例共有や振り返りの機会を設け、より実践的理解の定着を図ってまいります。
	・目標は、全職員の共通理解を図っているか	12	9			
教育保育について	・指導計画は教育保育計画に基づき作成しているか	15	6			教育保育要領に基づき、安全と健康を第一に、計画的な教育保育の実践に努めました。また、モンテッソーリ教育や各種教具・環境整備を通して、子どもの主体的な活動を支える環境づくりを進めることができました。一方で、モンテッソーリ教育やインクルーシブ保育の理解・実践には職員間で差が見られることが課題です。今後は研修や実践共有を通して理解の統一を図り、教育保育の質のさらなる向上に取り組んでまいります。
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、援助・支援を適切に行っているか	12	9			
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	9	11	1		
	・障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか	7	12	2		
	・小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか	11	10			
	・モンテッソーリ教育は、子どもたちの発達にあわせて環境を整え、活動しているか	6	10	5		
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	13	7	1		
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	16	5			日常の健康管理や感染症対策を継続的に行い、園児・職員ともに大きな事故なく過ごすことができました。家庭との連携による健康管理の意識向上も一定の成果と捉えています。一方で、感染症の流行状況に左右される側面もあるため、今後も予防対策の徹底と職員間の情報共有を強化し、安定した健康・安全管理体制の維持に努めてまいります。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	21				
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策）を講じているか	18	3			
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	19	2			
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	15	6			
開かれたこども園づくり	・子どもの発達などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を深めるための機会を設けているか	18	3			懇談会やミナパサロン、ボランティア活動などを通して、保護者との交流や相互理解を深めることができました。また、子育てひろば事業により地域とのつながりも広がっています。一方で、参加状況や関わり方に差が見られるため、今後はより多くの方が参加しやすい工夫や、多様なニーズに応じた取り組みを検討してまいります。また、次年度は第三者評価の受審を通して、客観的な視点からの改善にも取り組んでまいります。
	・地域の親子が遊べる場や、育児相談などの機会や情報の提供を行っているか	15	6			
	・一時預かり保育や休日保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	15	6			
	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	15	6			
職員の資質向上及び職員間の連携	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保し、参加体制の充実を図り、内容を園内に還元しているか	8	11	2		法人の育成プログラムや各種研修の受講、資格取得の推進により、職員の専門性向上を図ることができました。また、ICTの活用により業務の効率化にも一定の成果が見られました。一方で、職員間の情報共有や連携の面では課題が見られ、特に日常業務における情報伝達の質やタイミングにばらつきがある状況です。今後は共有ルールの明確化や定期的な振り返りの機会を設け、チームとしての連携強化に取り組んでまいります。
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	10	10	1		
	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	7	11	3		
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	9	11	1		
守秘義務の遵守	・利用者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	18	3			職員研修（採用時、危機管理等）や業務での使用時に確認し、適正に取り扱っております。
施設・設備	・施設内外の設備や道具の安全点検を計画的に行い、道具や用具等を活用しやすいように整理、保管しているか	14	6	1		安全計画に基づき、日常点検や各種訓練を継続的に実施しました。今後も安全性の維持・向上に努めるとともに、環境整備の効果検証も行ってまいります。
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	14	7			
出納・経理	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	17	4			法人本部と連携し、適正かつ適切に処理を行っております。